

## 出前講座 報告書

|  |  |
|--|--|
| 開催日時   | 令和2年1月21日(火) 15時00分～16時00分                           |
| 開催場所   | ゆめポリスセンター2F  |
| 申請団体等名称  | 全国地域人権運動総連合 三重県連合会伊賀支部                               |
| テーマ  | 同和政策の在り方について   |
| 委員会名等  | 総務常任委員会  |
| 委員会名等  | 上田 宗久(委員長)、森川 徹(副委員長)、宮崎 栄樹、市川 岳人、中谷 一彦、岩田 佐俊、安本 美栄子 |
| 記録者  | 森川 徹   |
| <p><b>【講座・意見交換等の主な内容、対応等】</b></p> <p>自己紹介の後、森永委員長からあいさつ。</p> <p>その中で、同和対策特別措置法の経緯の説明があり、同和対策特別措置法が終了したことから、同和施策から一般施策へ転換し、正しい人権の認識を行き渡らせる必要があるとの説明があった。</p> <p>その他に、参加者から以下のような意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・いなべ市はすでに同和施策をなくしている。</li><li>・部落差別は行政次第でなくすことは可能である。</li><li>・伊賀市の同和施策は終結に向かってどこまで進んでいるのかわからない。</li><li>・伊賀市は同和地区を行政自ら断定している。これこそ差別を生むのではないか。</li><li>・同和地区を対象に行われたアンケートの結果が操作されているのではないか。</li><li>・特定の地区の業者が随意契約で市のパンフレットなどを作成しているのではないか。</li><li>・市は部落解放同盟ありきの考え方をまずは変えていく必要がある。</li></ul> <p>出された意見を踏まえ、委員長から、議員は同和問題に対して一定の共通認識は持っており、今後行政に対して問題となっている駐車場問題も含めて課題解決に向けた取り組みへの要請を行っていくとの回答があった。</p> <p>今回の意見交換では、参加者が思うことを口々に発言していたため、当初テーマとしていた、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1、同和対策特別事業の終結</li><li>2、旧同和地区に限定したアンケートの実施</li><li>3、八幡町の駐車場問題</li></ol> <p>が十分に議論できなかったように感じたが、出された意見に対し行政へ必要な要望等を行っていく必要があると感じた。</p> |  |

伊賀市議会議長 様

令和2年2月27日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

総務常任委員長 上田 宗久